

第2回 草津市総合計画審議会基本計画部会 次 第

日 時 平成21年11月26日(木)
午前10時から
場 所 草津アマカホール 2階研修室

1. 開会

2. 審議

(1) リーディング・プロジェクト(案)について

(2) 分野別計画・行財政マネジメント(素案)について

(3) その他

3. 閉会

【資料】

資料1 : 第5次総合計画 リーディング・プロジェクト(案)

資料2 : 第1回 基本計画部会審議会主な意見とその対応

参考資料 : 第5次草津市総合計画のあらまし

シビック・プライド
ふるさと草津の心をつくる
3つのリーディング・プロジェクト（案）

市民の“高いところざし”のもとで、「元気」と「うるおい」をキーワードに、滋賀県を先導する自負と責任をもって、本市の協働のまちづくり・地域経営をけん引していきます。

（参考：プロジェクトの対象と横断的視点の関係）



■水と緑と文化に満ちた暮らしプロジェクト

■はつらつ草津の未来プロジェクト

■市民が学んで築く地域プロジェクト

1. プロジェクトの位置づけ

ここに掲げるプロジェクトは、私たち市民の間に「ふるさと草津の心」が自ら生み出されるよう、分野横断的な視点から設定するものです。すべて、基本構想期間を通じて草津市のまちづくりを先導するものであり、同時に、協働のまちづくりの気運をさらに高めるために重要な市民共通のテーマです。

各プロジェクトには、第1期基本計画期間において成果が強く望まれる事業で、その波及効果が期待できる事業を含めています。各事業を強力に推進するに止まらず、事業間の相乗効果を最大限に高める工夫を図っていきます。

(凡例)

各プロジェクトの名称

■水と緑と文化に満ちた暮らしプロジェクト

水と緑を生かし、地球環境と調和した暮らしが行なわれ、文化活動が旺盛に展開される魅力あるまちづくりを進めます。

成果指標（暫定設定）

- ・環境に関心を持って行動し、暮らす人々が増える
- ・市民文化活動に携わる人々が増える
- ・水と緑を生かした環境整備が進む

各プロジェクトの中長期の方針。

各プロジェクトの中長期の成果指標。

第1期計画期間において各プロジェクトを構成するリーディング施策。

第1期計画期間において各プロジェクトを構成する分野の内容。個別の事業を踏まえる。

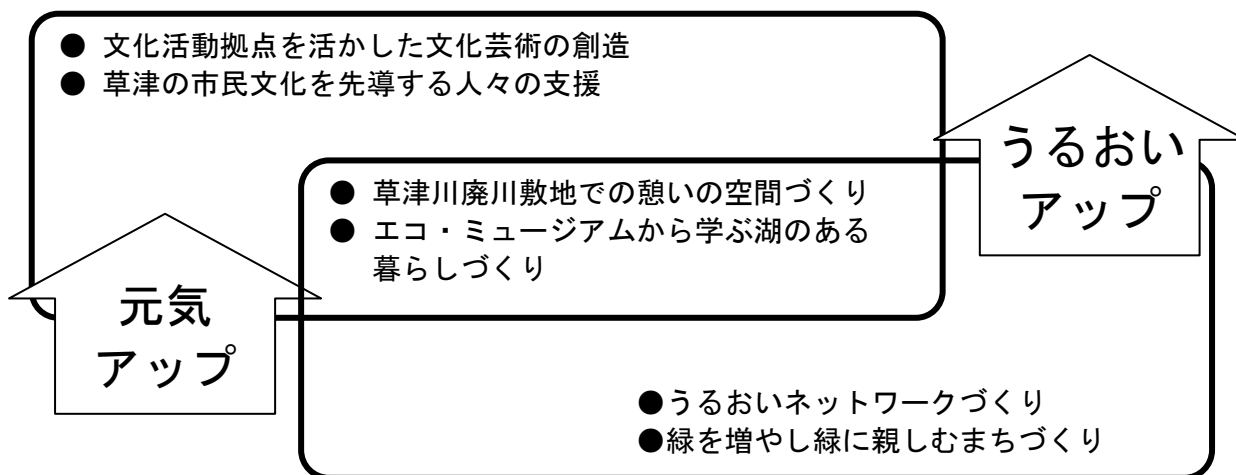
施策の単位で代表値とする成果指標。

プロジェクトを構成する施策 (たたき台)	概要	成果指標（案）	
		現状	第1期末
文化活動拠点を活かした文化芸術の創造	→ 市民文化の拠点施設を整備し、その活用により、草津市の「文化力」向上を図ります。	市民文化活動が整備される	
草津の市民文化を先導する人々の支援	→ 文化の薫る草津のまちづくりを総合的にプロモートするために、専門的な人材の確保やポータルサイトの整備を進めながら、草津のまちと文化を発信していきます。	専門的な人材を確保する	
草津川廃川敷地での憩いの空間づくり	→ 中心市街地の活性化とあわせながら、「憩いの空間」「防災空間」等としての整備を促進します。	草津川廃川敷地の利用が始まる	
エコ・ミュージアムから学ぶ湖のある暮らしづくり	→ 烏丸半島を拠点として、くさつエコ・ミュージアムとして豊富な学習資源に恵まれた地域の特性を最大限に生かすよう、各種取り組みを展開します。	エコ・ミュージアムの認知が広まり活用される	
うるおいネットワークづくり	→ 市民協働により、資源マップや案内表示施設等の作成・整備を行うとともに、琵琶湖や河川等を生かした親水性のある水辺空間を整備します。	うるおいネットワークを楽しむ市民が増える	
緑を増やし緑に親しむまちづくり	→ 市民の協力を得て宅地の修景とも連動した緑を増やす市民運動を展開します。	草木を植える市民運動が展開される	

基本施策の体系のなかには、この下位の「事業」のレベルで擦り合わせて位置づける。

■水と緑と文化に満ちた暮らしプロジェクト

<p>水と緑を生かし、地球環境と調和した暮らしが行なわれ、文化活動が旺盛に展開される魅力あるまちづくりを進めます。</p>	<p>成果指標（暫定設定）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・環境に関心を持って行動し、暮らす人々が増える ・市民文化活動に携わる人々が増える ・水と緑を生かした環境整備が進む
---	--



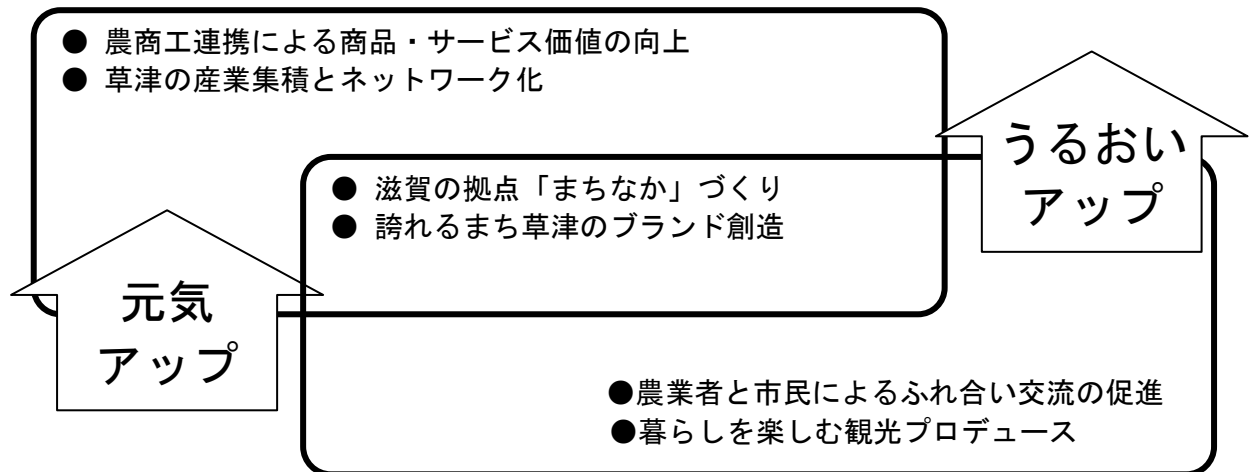
プロジェクトを構成する分野 (たたき台)	概要	成果指標（案）	
		現状	第1期末
文化活動拠点を活かした文化芸術の創造	→ 市民文化の拠点施設を整備し、その活用により、草津市の「文化力」向上を図ります。	市民文化活動が整備される	
草津の市民文化を先導する人々の支援	→ 文化の薫る草津のまちづくりを総合的にプロモートするために、専門的な人材の確保やポータルサイトの整備を進めながら、草津のまちと文化を発信していきます。	専門的な人材を確保する	
草津川廃川敷地での憩いの空間づくり	→ 中心市街地の活性化とあわせながら、「憩いの空間」「防災空間」等としての整備を促進します。	草津川廃川敷地の利用が始まる	
エコ・ミュージアムから学ぶ湖のある暮らしづくり	→ 烏丸半島を拠点として、くさつエコ・ミュージアムとして豊富な学習資源に恵まれた地域の特性を最大限に生かすよう、各種取り組みを展開します。	エコ・ミュージアムの認知が広まり活用される	
うるおいネットワークづくり	→ 市民協働により、資源マップや案内表示施設等の作成・整備を行うとともに、琵琶湖や河川等を生かした親水性のある水辺空間を整備します。	うるおいネットワークを楽しむ市民が増える	
緑を増やし緑に親しむまちづくり	→ 市民の協力を得て宅地の修景とも連動した緑を増やす市民運動を展開します。	草木を植える市民運動が展開される	

※草津の市民文化

「市民が主体的に取り組む文化活動」として、芸術文化、歴史・伝統文化はもとより、生活文化をも含めた大きな広がりを持つものとして位置づけ、ふるさと草津の心の根幹を成すものと捉えます。

■はつらつ草津の未来プロジェクト

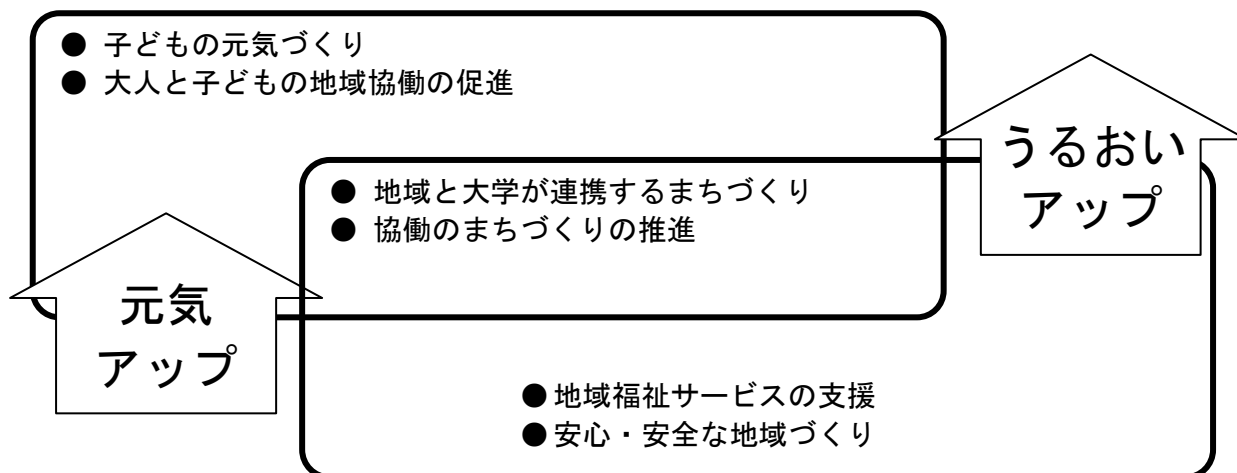
<p>農業、製造業、商業等が集積・連携しながら発展し、近江の拠点として「まちなか」が市内外の人々の活動の舞台となるまちづくりを進めます。</p>	<p>成果指標（暫定設定）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・産業の集積・ネットワーク化と農商工連携が進む ・滋賀の拠点として草津の「まちなか」が発展する ・自然と文化に親しむ市民が増え、草津を訪れる人と市民との交流が進む
--	---



プロジェクトを構成する分野 (たたき台)	概要	成果指標（案）	
		現状	第1期末
農商工連携による商品・サービス価値の向上	→ 農業と商工業の融合を推進し、付加価値の高い商品・サービスの創出を支援するとともに、担い手の確保をはじめ、経営の安定化を図ります。	新たな商品・サービスが生み出され市内外からの認知を得る	
草津の産業集積とネットワーク化	→ 草津田上 IC の立地を生かした産業誘致を積極的に図るとともに、優れた技術力などを有する市内企業等の販路拡大の支援、新産業・第二創業の支援等を行います。	新産業等が興る	
滋賀の拠点「まちなか」づくり	→ 県南部地域の交通結節地というポテンシャルを生かしながら、市内外の人が他にない魅力を感じるまちづくりを目指して、“まちなか”の魅力を向上させていきます。	まちなかが魅力あるものになる	
誇れるまち草津のブランド創造	→ 農林水産物・加工品等をはじめ地域資源を含めた草津ブランドの強化を図り、シティ・インフォメーションを積極的に推進します。	草津の農産品等の認知が高まる	
農業者と市民によるふれ合い交流の促進	→ 地産地消の取り組みを軸として、農業者と市民のふれあい・交流活動を展開します。	交流の人数が増える	
暮らしを楽しむ観光プロデュース	→ わがまち再発見・地域主導の地域づくりを進めながら、地域資源を地域自らがプロデュースする着地型観光の展開など新たな観光スタイルの定着を図ります。	市内観光を訪れる人が増える	

■市民が学んで築く地域プロジェクト

<p>まちが子どもを育み、人々がより良く暮らすため、市民が学びあい、助け合う地域づくりを大学等と連携して進めます。</p>	<p>成果指標（暫定設定）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・あらゆるところでの市民参加・参画が進む ・子どもの学びと成長が図られる ・人々の助け合いが進み、安心・安全な地域になる
---	--



プロジェクトを構成する分野 (たたき台)	概要	成果指標（案）	
		現状	第1期末
子どもの元気づくり	→ 地域すべての人や機関が力を合わせ子育てと自立する子どもの育ち・学びを支える環境づくりを進めます。	子どもが学校を好きになる	
大人と子どもの地域協働の促進	→ これまでの取り組み踏まえ、子どもから大人まで、さまざまな年代の人が世代を超えてかかわり、学び合い、その成果を次世代につなげていく地域学習社会の構築の推進を図ります。	子どもと大人が協働して、地域活動が活発になる	
地域と大学が連携するまちづくり	→ 大学と市民などとの連携拠点をづくり、一人ひとりのニーズに応じた幅広い活動ができるよう大学等を生かしたまちづくりを進めていきます。	大学等を生かしたまちづくりが進む	
協働のまちづくりの推進	→ 市民提案型の協働まちづくりへの活動支援、地域協議会活動促進のための交付金制度の創出、市民センターの機能充実を図ります。	各方面での市民参加・参画が進む	
地域福祉サービスの支援	→ 「福祉力」を高めるためのコーディネーターの設置を進めるとともに、誰もが安心して日常生活を営むことができる地域づくりを図っていきます。	地域の福祉力が強化される	
安心・安全な地域づくり	→ 地域住民と行政等が協働して、地域の誰もがいつまでも安心して暮らせるよう地域の安心・安全を高めます。	地域の安全が高まる	

プロジェクトを構成する分野に設定する個別事業一覧表

■水と緑と文化に満ちた暮らしプロジェクト

プロジェクトを構成する施策 (たたき台)	想定するリーディング対象事業名	担当課（仮設定）
文化活動拠点を活かした文化芸術の創造	・ 文化活動等拠点整備事業	教育総務課 他
草津の市民文化を先導する人々の支援	・ 草津文化芸術作品展開催事業	生涯学習スポーツ課
	・ 市民文化芸術活動支援事業	生涯学習スポーツ課
	・ 地域ポータルサイト整備事業	情報政策課
草津川廃川敷地での憩いの空間づくり	・ 草津川廃川敷地整備活用事業	企画調整課
エコ・ミュージアムから学ぶ湖のある暮らしづくり	・ こども環境会議開催事業	環境課
	・ 環境ワークショップ開催事業	環境課
	・ エコ・ミュージアム活用事業	環境課
うるおいネットワークづくり	・ うるおいネットワーク推進事業	企画調整課
	・ 親水性河川整備事業	河川課
緑を増やし緑に親しむまちづくり	・ 緑を増進する市民運動展開催事業	公園緑地課

■はつらつ草津の未来プロジェクト

プロジェクトを構成する施策 (たたき台)	想定するリーディング対象事業名	担当課（仮設定）
農商工連携による商品・サービス価値の向上	・ 農商工間連携促進事業	農林水産課
草津の産業集積とネットワーク化	・ 工業振興事業	産業労政課
	・ 産業誘致推進事業	産業労政課
滋賀の拠点「まちなか」づくり	・ 大江霊仙寺線整備事業	道路課
	・ 中心市街地再生事業	都市計画課
	・ 中心市街地活性化推進事業	商業観光課
	・ 公共交通対策事業	交通政策課
	・ 南草津駅新快速停車促進事業	交通政策課
誇れるまち草津のブランド創造	・ 草津ブランド力強化事業	農林水産課・商業観光課

	・ 草津 CI 推進事業	企画調整課
農業者と市民によるふれ合い交流の促進	・ 農商工間連携促進事業	農林水産課
	・ 担い手経営革新促進事業	農林水産課
	・ 農業体験・食育推進事業	農林水産課
暮らしを楽しむ観光プロデュース	・ 着地型観光推進事業	商業観光課
	・ 観光宣伝事業	商業観光課

■市民が学んで築く地域プロジェクト

プロジェクトを構成する施策 (たたき台)	想定するリーディング対象事業名	担当課（仮設定）
子どもの元気づくり	・ 学力向上重点事業	学校教育課
	・ 学校教育モデルプラン推進事業	学校教育課
	・ 保育サービス事業	保育課
	・ 子育て支援センター事業	子ども家庭課
大人と子どもの地域協働の促進	・ 地域協働高校推進事業	生涯学習スポーツ課
地域と大学が連携するまちづくり	・ 草津未来研究所運営事業	草津未来研究所準備室
	・ (仮) コミュニティ・カレッジ開設事業	生涯学習スポーツ課
	・ 子どもアスリート体験教室実施事業	生涯学習スポーツ課
協働のまちづくりの推進	・ 提案型協働まちづくり活動支援事業	まちづくり協働課
	・ 地域協議会推進事業	まちづくり協働課
地域福祉サービスの支援	・ 「(仮称)地域福祉コーディネーター」設置事業	社会福祉課
	・ 地域高齢者見守り事業	長寿福祉課
安心・安全な地域づくり	・ 防災対策事業	危機管理課

第2回 基本計画部会 資料2

第1回 草津市総合計画審議会基本計画部会審議会主な意見とその対応

日 時 平成21年11月13日(金)
 午前10時から午前11時30分
 場 所 草津市役所 2階特大会議室

(1) リーディングプロジェクト(案)について

主な意見	事務局回答及び考え方(案)
<ul style="list-style-type: none"> ● 我々の役割として、リーディング・プロジェクトについて、理想論として検討をしてもいいのか。厳しい財政状況を踏まえた上での検討をすべきなのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ● (会長;当然、厳しい財政状況を踏まえて検討すべきだろう)
<ul style="list-style-type: none"> ● 「地域」の用語の使い方に留意をされたい。自治体そのものと、各学(地)区と両方に用いている 	<ul style="list-style-type: none"> ● 学区としての地域、市としての地域について、それぞれ同じ文言になっているが、使い分けについては、可能かどうか検討はしたい。 ● (会長;両方の意味で用いることは、やむを得ないだろう)
<ul style="list-style-type: none"> ● リーディング・プロジェクトは、自助公助共助という考え方でいうと、どう捉えるべきか? 	<ul style="list-style-type: none"> ● リーディング・プロジェクト対象事業は、分野別計画において、再掲することになる。そのために、分野別計画において行政の役割、市民、地域の役割、事業者、大学等の役割について整理をしている。
<ul style="list-style-type: none"> ● 中長期の成果指標は出さないのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 中長期にはどのような状態になるかについては示していくが、成果指標は検討段階である。ただし、少なくとも、第1期基本計画期間の指標はしっかりと示していきたい。
<ul style="list-style-type: none"> ● リーディング・プロジェクトの位置づけやプロジェクトの設計条件の文言表現について、修正されたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ● プロジェクト立案時点の説明資料として整理しており、今回、計画書記載内容として、指摘を踏まえて再整理を行う。
<ul style="list-style-type: none"> ● 「学力向上」が「学校が好きになる」など、取り組み内容と成果の表現が合致していないものがある。 	<ul style="list-style-type: none"> ● プロジェクトが固まり次第、再精査したい。
<ul style="list-style-type: none"> ● プロジェクト全体が4層の構造になっており少しわかりにくい。整理統合を含めて、再構成されたい。 ● プロジェクトが8項目はいかにも多い。一段上のレイヤーで考えて、大幅な再編をお願いしたい。 	<p style="text-align: center;">シビック・プライド</p> <ul style="list-style-type: none"> ● ご意見を踏まえて、ふるさと草津の心をつくる、3つのリーディング・プロジェクトとして再整理する。
<ul style="list-style-type: none"> ● 各論・分野別計画との整合は図れているのか(緑の基本計画、男女共同参画推進計画など) 	<ul style="list-style-type: none"> ● すでに出来ている男女共同参画推進計画とは整合をとっている。 ● また、各課から提出された内容をもとにリーディング・プロジェクトの施策を組み立てているので、これから作る緑の基本計画などについても、名称は別にしても同様な位置づけができていくと考えている。

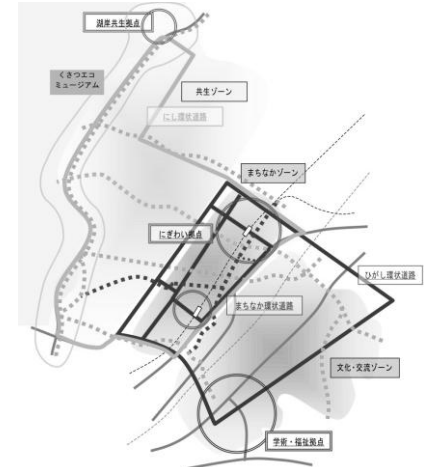
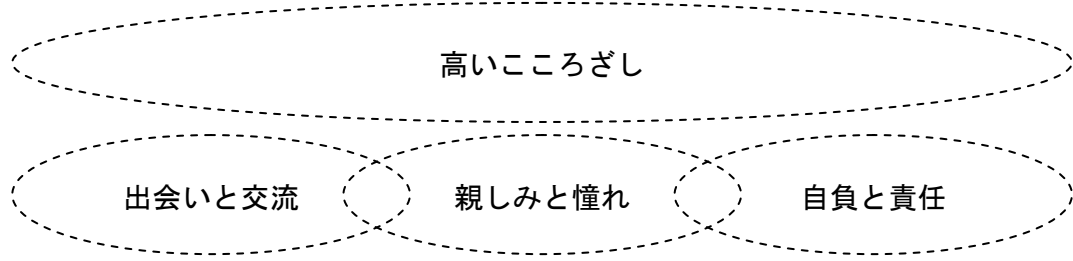
主な意見	事務局回答及び考え方（案）
<ul style="list-style-type: none"> ● 「まちなか」だけでよいか。周辺部から異論がでないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 草津市全体を一体的なまちと捉えている。 ● 「まちなか」を単に良くするのではなく、「まちなか」を活性化するが周辺地域を含めた草津市全体の「元気」や「うるおい」につながっていくとしている。
<ul style="list-style-type: none"> ● 外国籍市民など、多文化共生は今後ますます重要となる視点である。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 今回の基本計画は、進行管理はもちろん、行財政システムとの連動を重視している。
<ul style="list-style-type: none"> ● 女性、高齢者、障害者など、ノーマライゼーションの視点に踏み込んだ計画とされたい。 ● 多文化共生や女性などを、こういう人権の括りなどにしてしまうと、その分野の問題になってしまって、社会全体の問題にならない。 ● 男女共同参画の視点は、横断的に入れてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ● そのため、実際の施策・事務事業を基本に、その体系を論理的にシンプルな構造となるよう努めている。 ● ノーマライゼーションとインクルーシブな社会づくりの視点については、行政の役割で掲載することなど、検討していきたい。
<ul style="list-style-type: none"> ● 人権だけで終わってもらいと困る、ということで、市民文化などで趣旨を踏まえるか。行政の行動、成果指標などで入れるなどもある。対応を検討してほしい。 	
<ul style="list-style-type: none"> ● 学力向上の事業は、学校教育モデルプラン推進事業に含めてはどうか。 ● 教育とエコ・ミュージアムなどリンクさせて、エキサイティングなものにしてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 今回のリーディング・プロジェクトの施策について再整理している。 ● 教育とエコ・ミュージアムについては、リンクさせていきたい。
<ul style="list-style-type: none"> ● 「地域協働合校のさらなる推進が図られている」という成果指標はおかしい。10年の反省を受けて次を考えるべきだろう。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 成果指標について再検討いたします。
<ul style="list-style-type: none"> ● 地域協働合校についてプロジェクトの2でもいいが、3でもいいかもしれない。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 今回のリーディング・プロジェクトの施策について再整理している。
<ul style="list-style-type: none"> ● ごみ減量・資源化促進事業のなかにある、拠点づくりの具体的内容はなにか。 	<ul style="list-style-type: none"> ● クリンセンター建て替えが、この10年では必要と考えている。単なるごみ処理施設ではなく、環境学習等に生かせるものとしていきたい。
<ul style="list-style-type: none"> ● 都市観光とは、どういう内容を指しているのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 例えば「本陣に行きたい」というような施設に行く観光ではなくて、「草津に行きたい」という人を作り出していきたい。 ● 今回のリーディング・プロジェクトの施策について再整理している。

（2）分野別計画・行財政マネジメント（素案）について

主な意見	事務局回答及び考え方（案）
<ul style="list-style-type: none"> ● 地域力を高める、とあるが、施策としてみえない。P28 など「～します」ばかりで、市民が進めていくことは表現されないのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 地域、市民の役割で整理していきたい。

第5次草津市総合計画のあらまし

出会いが織りなすふるさと “元気”と“うるおい”のあるまち 草津



平成32年の人口：135,000人

基本構想（案）

まちづくりの基本方向

「人」が
輝くまちへ

「安心」が
得られるまちへ

「心地よさ」が
感じられるまちへ

「活気」が
あふれるまちへ

行政の姿勢と役割

地域経営への転換

協働のまちづくりの
基盤強化

シビック・プライド ふるさと草津の心をつくる3つのリーディング・プロジェクト（案）

元気アップ

■水と緑と文化に満ちた暮らしプロジェクト

■はつらつ草津の未来プロジェクト

■市民が学んで築く地域プロジェクト

うるおいアップ

地域経営の方針

- 「公」の領域の広がりへの対応
 - ・ 行動主体の役割分担と協働
 - ・ コミュニティの働きの重視
- 厳しい財政状況のもとでの行財政マネジメント
 - ・ 徹底した行財政改革の推進
 - ・ 業務評価の結果と財務分析の公開
 - ・ 人材育成と有効な人材活用
 - ・ 公共施設の適正配置及び必要経費の平準化
 - ・ 近隣自治体との連携
 - ・ 財務体質の強化

分野別の計画（基本方針）

- 人権：**
- 人権文化の醸成
 - 人権の擁護
- 男女共同参画：**
- 男女共同参画社会の構築
- 教育・青少年：**
- 学校教育の充実
 - 教育環境の整備
 - 青少年の健全育成
- 生涯学習・スポーツ：**
- 生涯学習施設の整備・充実
 - 生涯学習活動の振興
 - 地域学習社会の形成
 - 市民スポーツの振興
- 市民文化：**
- 市民文化の醸成
 - 歴史資産の保全と活用

- 子ども・子育て：**
- 母子保健等の充実
 - 就学前教育・保育の充実
 - 放課後児童対策の充実
 - 地域ぐるみの子ども・子育て支援
- 長寿・生きがい：**
- いきいきとした高齢社会の実現
 - あんしんできる高齢期の生活への支援
- 障害福祉：**
- 障害のある人の生活支援
 - 障害のある人の社会参加の促進
- 地域福祉：**
- 「地域力」のあるまちづくり
- 健康・保険：**
- 市民の健康づくり
 - 医療保険制度等の適正運用
- 生活安心：**
- 生活安定への支援
 - 暮らしの安心の確保
 - 火葬場・墓地の適正管理と公衆衛生の向上
- 防犯・防災：**
- 災害に強いまちづくり
 - 犯罪のないまちづくり
 - 治水対策

- うるおい・景観：**
- やすらぎ・憩いの環境づくり
 - 良好な景観の保全と創出
- 環境：**
- 人と自然との共生した環境づくり
 - 環境学習の充実
 - 地球温暖化対策への貢献
 - 資源循環型社会の構築と廃棄物の処理
 - 環境汚染・公害への適切な対策
- 住宅・住生活：**
- 住まいと住生活の魅力向上
 - “まちなか”の魅力向上
- 上下水道：**
- 水の安定供給
 - 汚水の適正処理
- 道路・交通：**
- 安全で快適な道路づくり
 - 公共交通体系の充実
 - バリアのないまちづくり

- 農林水産：**
- 農業の振興
 - 水産業等の振興
- 商工観光：**
- 商業の振興
 - 工業の振興
 - 観光の振興
 - 勤労者への支援
- コミュニティ・市民自治：**
- 地域コミュニティ活動の活性化
 - 市民活動の活性化
 - 市民まちづくり支援体制の充実
- 情報・交流：**
- まちづくり情報の提供の充実
 - 多様な交流活動の展開
 - 大学などを生かしたまちづくりの展開

行財政マネジメント

- 市民から信頼される市政運営
- 行財政資源の有効活用

<計画の進捗管理>

- 事業計画
 - ↓
 - (毎年度)
 - 主要事務事業評価
 - ↓
 - 予算編成
 - ↓
 - (各期末)
 - 施策評価による、各期基本計画の達成評価
 - ↓
 - (基本構想期末)
 - 第5次総合計画に基づくまちづくりの総括

【計画進捗の“見える化”】

- ベンチマークによる、計画の進捗把握（毎年度）
- +
- 各主体の行動

基本計画（素案）